



# 学校だより

さいたま市立大谷場小学校

<http://oyaba-e.saitama-city.ed.jp/>

## 学校教育目標

- ひとみが輝く子 —  
かしこく  
やさしく  
たくましく  
あたたかく

今月の生活目標

時間を守って生活しよう

すくすくと育つ、大谷場小の子どもたち

校長 玉井 康 仁

梅雨の晴れ間に、青空がとても眩しく感じる頃となりました。早いもので1学期は残すところ一カ月余りとなり、テレビのニュースは、そろそろ夏の話題が多くなってまいりました。学校は「1学期のまとめ」の月。子ども達は夏休みを楽しみにしながら、まとめの月にふさわしく充実した日々を過ごしています。

さて、5月には、学校関係者評価委員会(委員長:青少年育成大谷場小地区会長 磯 正 様)、学校評議員、スクールサポートネットワーク連絡協議会、防犯見守りボランティア(学校安全ネットワーク)など、学校が主体となり地域と連携して児童の健全育成を図るための会議を開きました。大谷場小学校の子どもたちは、多くの地域の方々、保護者の方々に愛され、見守られていることを強く感じました。会議にご出席いただいた皆様、これからも大谷場小学校へのご支援をよろしくお願いいたします。

そこで、今月号は、大谷場小学校の子どもたちの活躍を紹介いたします。

一つ目は、6月2日に、青少年育成大谷場小地区会主催の「グリーンコンサート」が開催されました。このコンサートは今年で33回目を数え、大谷場小学校金管バンド、大谷場中学校吹奏楽部の演奏とともに、小・中合同演奏の「銀河鉄道999」を堂々と演奏しました。中学校吹奏楽部には本校の卒業生も在籍しており、地域が一つとなって子どもたちの成長を願う気持ちと、温かい心のつながりを感じました。「グリーンコンサート」の運営に携わってくださった青少年育成大谷場小地区会の皆様、保護者・PTAの皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

二つ目は、6月4日～6日に、5年生の「館岩自然の教室」がありました。2泊3日の集団生活の中で、山登り、イワナさばき、ぶんぶんゴマ作り、ナイトハイクなど自然の中で多くの体験を積んできました。5年生と過ごした3日間、私は子どもたちと気持ちよく生活してきました。その理由は、「ありがとうございます」という感謝の言葉が溢れていたからだと思います。どんな小さなことでも当たり前ではなく、素直な気持ちを伝える子どもたちの姿に、すがすがしさを感じました。このような成果が見られるのは、家庭において普段から「ありがとう」という言葉が溢れているからであり、健康管理や荷物準備の面でのご支援も含めて、家庭の教育力を感じた3日間でした。

三つ目は、6月12日に、「南区Aブロックバスケットボール大会」が開催され、代表として6年3組が出場しました。大会当日の朝に「バスケットボール大会壮行会」が行われ、全校児童で「フレー、フレー、大谷場」のエールを送りました。この壮行会でリーダーとなったのが、出場できなかった6年の他学級の児童でした。リーダーの堂々とした姿、激励の声は『頼むぞ、学校代表!』という思いが伝わってくる迫力でした。午後からの大会は、大谷場東小学校で行われました。第1試合の対大谷場東小では28対8で勝ち、第2試合の対谷田小は38対28で逆転勝ち、見事に優勝し、南区長賞のトロフィーもいただきました。試合の後、6年3組の児童が話していた「この勝利は自分たちだけの力でない、応援してくれた友達、ご指導いただいた先生方のおかげです。」という素直な言葉が印象的でした。

このように、1学期の教育活動を通して子どもたちがすくすくと育ってこられたのは、地域や保護者の皆様が本校の教育活動を理解し、時には子ども達を見守り、時には支えてくださったお蔭と、心より感謝申し上げます。

7月20日に終業式を迎え、子どもたちが家庭や地域で過ごす夏休みになります。夏休み中は、交通事故、不審者に十分注意して、お子様が健やかに、安全に、そして、有意義に過ごしてほしいと思います。8月28日の2学期始業式に、元気な姿で会えることを楽しみにしています。